

総務文教常任委員会

委員長：今西 菊乃
副委員長：久間 進
委員：中田 恭一、榊原 伸
小金丸益明、呼子 好

議案3件・陳情2件の付託を受け審査し、全議案可決、陳情を採択し意見書を提出。
彦岐市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について、今後、消防団員の減少・高齢化が進んでいく中で、消防団の統合も検討し、本部の体制も考慮した機構改革が必要である。
報酬について、本部副団長は地区団長と本部補佐を兼ねているので適当と思うが、地区副団長が現場の指揮をとりその責務は重大である。本部副団長との報酬の差額を調整すべきである。

予算特別委員会

委員長：深見 義輝
副委員長：牧永 護
委員：全議員
(議長・オブザーバー)

一般会計補正予算(7号)の審査について原案可決とした。
主な審議内容
Q 庁舎建設について合併特例事業債活用の予定は。
A 中長期財政計画の見通しで、平成28年度以降18億7千万円。
Q 生ゴミリサイクル事業は一般家庭ゴミか。
A 当面は事業用ゴミで対応。状況を確認しながら家庭ゴミに広げていく。
Q 防火水槽(新設)の減額補正の理由は。
A 国庫補助の決定により減額。次年度も要望する。

産業建設常任委員会

委員長：田原 輝男
副委員長：大久保洪昭
委員：牧永 護、瀬戸口和幸
中村出征雄、深見 義輝
町田 光浩

議案5件の付託を受け審査をおこない、採決の結果、全議案可決した。
審議中の意見・要望
・補助金等を利用してローラーを導入している畜産農家があるが、将来的に過剰投資になり経営を圧迫するので十分な経営審査をすべき。
・イノシシの捕獲は成果が上がっておらず、捕獲方法を検討しては。
・芦辺港のジェットfoil着岸場所をターミナル側へ変更する事、及び砂置き場の変更を進めてもらいたい。
・漂流物・漂着物の処分に対する経費等を国で負担するよう要望すべき。
・水道本管が個人所有地を横断している所は、段階的にも市有地に変更していくべき。

厚生常任委員会

委員長：町田 正一
副委員長：市山 和幸
委員：鶴瀬 和博、豊坂 敏文
音嶋 正吾、久保田恒憲

本委員会に付託された4議案は、いずれも原案可決とした。
病院事業会計補正予算は、入院患者・外来患者の減少に伴う減額補正である。これに伴い収益も3億7千万円の減額となる。医師の確保が出来ない事が主な原因である。
4月からは消化器内科の医師が確保できる見込みである等、改善の方向に向かっている。
また、かたばる病院との統合や病院企業団加入に向けて、改革プロジェクト会議が発足した。抜本的な改革が進められていると判断している。